

各学科の研究業績等（平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月）

人間科学科哲学分野

[著書]

- 1) 遠藤寿一：第 5 章臨床研究の倫理, 3 「新薬開発と遵守すべき基準」, 4 「利益相反」, 5 「動物実験の倫理」. 教養としての生命倫理 (村松聡, 松島哲久, 盛永審一郎: 編). (分担執筆 pp. 82-91). 丸善出版. 226 (2016)

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 遠藤寿一：安楽死と尊厳死. サイエンスアクセス講演会（（独）科学技術振興機構）. 2015 年 11 月. 奥州.

人間科学科文学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 平林香織, 芳賀真理子, 渡邊剛：岩手医科大学の軌跡(1)―草創期をふりかえる―. 岩手医科大学教養教育研究年報. 50 : 101-124 (2015)
- 2) 平林香織, 千葉基弘, 中里早希, 三浦康宏, 芳賀真理子：岩手医科大学付属図書館所蔵和漢古書の書目一覧. 岩手医科大学教養教育研究年報. 50 : 125-138 (2015)
- 3) 平林香織：松代藩第六代藩主真田幸弘の遊び心. 盛岡大学日本文学会誌. 28 : 1-26 (2016)

[著書]

- 1) 平林香織：誘惑する西鶴 浮世草子をどう読むか. 笠間書院. 426 (2016)
- 2) 平林香織, 伊藤善隆, 竹中壘, 稲葉有祐, 真島望：松代・一関・南部・秋田各藩の和歌活動・俳諧活動による大名文化圏形成の新研究. 科学研究費補助金基盤研究(C) (代表平林香織) 研究成果報告書. 229 (2016)
- 3) 錦仁, 平林香織, 酒井忠治：庄内藩主酒井忠徳に宛てた堂上派歌人たちの書状その他. 東北地方諸藩の和歌活動と国学者の和歌思想との関係を解明する新研究 科学研究費補助金基盤研究(C) (代表錦仁) 研究成果中間報告書. 112 (2016)

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 平林香織：西鶴の地名意識を考える. 日本文芸研究会第 68 回研究発表会. 2016 年 6 月. 秋田.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 平成 28-31 年度科研費：基盤研究(C)
研究課題：江戸後期東北諸藩における文理融合理念と文芸活動を解明する新研究
研究代表者：平林香織

人間科学科法学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 廣瀬清英, 藤澤美穂, 關山悦子, 芳賀真理子, 渡辺敦子, 千葉基弘, 鈴木晴香, 相澤文恵, 平林香織: ビブリオバトル: アカデミック・リテラシーにおける図書館職員との協働—2015年版—. 岩手医科大学教養教育研究年報. 50: 81-99 (2015)

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 廣瀬清英: 教養科目におけるビブリオバトルの活用—ゼミナール形式での実施と選択科目における紹介本の分野縛り—. 初年次教育学会第9回大会. 2016年9月. 徳島.

[国内学会発表（地方会関係・一般講演）]

- 1) 廣瀬清英: ビブリオバトルの活用と初年次教育. 初年次教育学会実践交流会関東地区開催. 2016年5月. 東京.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 岩手医科大学教養教育センター: ビブリオバトルの活用による図書館職員との教職協働. 大学教育学会課題研究集会 2015. 2015年11月. 岩手.

人間科学科心理学・行動科学分野

[学術論文（英文・原著）]

- 1) Kishi, M., Aizawa, F., Matsui, M., *Yokoyama, Y., Abe, A., Minami, K., *Suzuki, R., Miura, H., Sakata, K. and Ogawa, A.: Oral health-related quality of life and related factors among residents in a disaster area of the Great East Japan Earthquake and giant tsunami. Health and Quality of Life Outcomes 13:143 DOI:10.1186/s129550-015-0331 (2015)

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 相澤文恵, 藤澤美穂, 平林香織: アカデミック・リテラシーの教育効果の検討—アンケート調査結果からの考察—. 岩手医科大学教養教育研究年報. 50: 67-79 (2015)
- 2) 藤澤美穂, 氏家真梨子, 畠山秀樹: 医療系大学生の被災地での臨床心理学的地域援助体験. 岩手医科大学教養教育研究年報. 50: 53-66 (2015)
- 3) *藤信子, *田原明夫, *高林健示, *西川昌弘, *安部康代, *長友敦子, *針生江美, 藤澤美穂: 自主企画ワークショップ 東日本大震災関係者の相互支援グループ. 集団精神療法. 31(2): 157-163 (2015)
- 4) 藤澤美穂, *田原明夫, *高林健示, *西川昌弘, *藤信子, *安部康代, *長友敦子, *針生江美: 東日本大震災関係者の相互支援グループIX—震災から3年8ヶ月後～4年6ヶ月の経過—. 集団精神療法.

32(1) : 52-60 (2016)

- 5) 大塚耕太郎, 遠藤仁, 赤平美津子, 中村光, 藤澤美穂, 本田笑奈, 岡田依知奈, 酒井明夫 : 岩手県久慈地域における医療関係者と地域住民が参加する自殺対策. *Depression Journal*. 4(2) : 72-75 (2016)

[国際学会発表 (一般講演)]

- 1) Matsui, M., Satoh, T., Abe, A., Minami, K., Aizawa, F., Suzuki, R., Sakata, K., Kishi, M.: Change in QHR-QoL of survivors after huge disaster. The 12th International Conference of Asian Academy of Preventive Dentistry. May, 2016. Tokyo.
- 2) Satoh, T., Matsui, M., Abe, A., Minami, K., Aizawa, F., Sakata, K., Kishi, M.: Prevalence of Candida species in oral cavities of elderly living in post-disaster area. The 12th International Conference of Asian Academy of Preventive Dentistry. May, 2016. Tokyo.

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) 藤澤美穂 : 東日本大震災の中長期支援者のストレス-援助職経験と被災経験の関連-. 第 23 回日本産業ストレス学会. 2016 年 2 月. 京都.
- 2) 藤澤美穂, *高橋文絵, *小黒明日香 : 災害中長期支援者のサポートグループ 第一報. 日本集団精神療法学会第 33 回大会. 2016 年 3 月. 市川.
- 3) 藤澤美穂 : 岩手県沿岸部仮設住宅への臨床心理学的地域援助活動の 5 年間、そしてこれから. 第 15 回日本トラウマティック・ストレス学会. 2016 年 5 月. 仙台.
- 4) 相澤文恵, 平林香織, 木村祐輔, 佐藤洋一 : 医歯薬 3 学部学生による多職種連携教育「チーム医療リテラシー」の試み. 第 48 回日本医学教育学会. 2016 年 7 月. 高槻.
- 5) 佐藤洋一, 田島克己, 相澤純, 伊藤智範, 佐藤和朗, 小笠原邦昭, 相澤文恵 : 症例をもとにした、高学年の医学部、歯学部、薬学部学生による合同ワークショップの試み. 第 48 回日本医学教育学会. 2016 年 7 月. 高槻.

[国内学会発表 (地方会関係・一般講演)]

- 1) 岸光男, 松井美樹, 相澤 文恵, 小松元, 及川陽次, 石崎明, 三浦廣行 : 岩手医科大学歯学部大学院教育における次世代の復興支援人材育成の試み. 日本歯科医療管理学会平成 27 年度東北支部総会・第 19 回学術大会. 2015 年 11 月. 秋田.

[その他 (教育・研究講演等の社会活動・研究費等)]

- 1) 相澤文恵 : モチベーションをアップしよう! ~行動科学理論を用いて~. 平成 27 年度健康づくりのための運動指導者講習会. 2015 年 12 月. 盛岡.
- 2) 藤澤美穂 : 宮古市仮設住宅への臨床心理士による支援の 5 年間. 岩手県臨床心理士会特別研修会「震災から 5 年を迎えた地域での心理的支援と今後の展望」. 2016 年 2 月. 盛岡.
- 3) 相澤文恵 : 行動変容に関する理論, 生活習慣病予防に関する保健指導~歯の健康に関する保健指導~. 平成 28 年度特定健診・特定保健指導従事者研修会. 2016 年 7 月. 盛岡.

- 4) 藤澤美穂：宮古市仮設住宅支援. 岩手県臨床心理士会「東日本大震災に関する支援活動報告書(平成27年4月～平成28年3月)」平成28年7月発行.
- 5) 相澤文恵：健やかな毎日を送るために. 平成28年度「市民公開講座」. 2016年8月. 矢巾.
- 6) 相澤文恵：行動科学理論を用いた特定保健指導の効果的な実践. 平成28年度第3回保健指導者研修会(協会けんぽ岩手県支部). 2016年9月. 盛岡.
- 7) 藤澤美穂：ストレスとの上手なつきあい方. 岩手医科大学創立120周年記念イベント「健康フェス2016」. 2016年9月. 矢巾.
- 8) 相澤文恵：モチベーションをアップしよう！～行動科学理論を用いて～. 矢巾町セカンドアカデミー2016 in 岩手医大. 2016年9月. 矢巾.
- 9) 相澤文恵：「教職員のための学生相談ハンドブック」岩手医科大学 学生相談ハンドブック作成委員会・健康管理センター(編集・発行). 2016. (作成委員会委員)
- 10) 藤澤美穂：「教職員のための学生相談ハンドブック」岩手医科大学 学生相談ハンドブック作成委員会・健康管理センター(編集・発行). 2016. (作成委員会委員・原稿執筆)
- 11) 平成28-30年度 科研費：基盤研究(C)
研究課題：薬学長期臨床実習におけるアミラーゼ活性を指標とした新規ストレス評価系の構築.
研究代表者：松浦誠 研究分担者：藤澤美穂.

人間科学科体育学分野

[著書]

- 1) 小山薫：健康運動科学. 橋本印刷. 90(2016)

[その他(教育・研究講演等の社会活動・研究費等)]

- 1) 小山薫：レクリエーションで健康寿命の延伸を～積極的休養で生きがいつくり～. 矢巾町セカンドアカデミー2015 in 岩手医大. 2015年10月. 矢巾.
- 2) 小山薫：お互いを知るためのワークショップ. 平成27年度選手強化事業第23回スポーツ医科学セミナー兼平成27年度北上市スポーツ少年団指導者研修会. 2015年11月. 北上.
- 3) 小山薫：お互いを知る～伝えておきたいこと～. いわてスーパーキッズ発掘・育成事業保護者プログラム. (公財)岩手県体育協会. 2016年2月. 盛岡.
- 4) 小山薫：体力測定. いわてスーパーキッズ発掘・育成事業. (公財)岩手県体育協会. 2016年3月, 8月. 矢巾.
- 5) 小山薫：お互いを知る. 平成28年度岩手県立不来方高等学校体育学系スポーツ医・科学特別講座. 2016年5月. 矢巾.
- 6) 小山薫：被災地における健康運動の実際. 第71回日本体力医学会大会ワークショップ座長. 2016年9月. 盛岡.

外国語学科英語分野

[学術論文（英文・原著）]

- 1) Onuma, H.: Monophthongization and diphthongization in Precedence-free Phonology. *Phonological Externalization 1*: 45-61 (2016)

[著書]

- 1) 大沼仁美：最新英語学・言語学用語辞典（中野弘三，服部義弘，小野隆啓，西原哲雄：編）。（項目分担執筆）．開拓社．552 (2015)

[国際学会発表（一般講演）]

- 1) Onuma, H., *Nasukawa, K., and *Koizumi, M.: The inherent vowel prime in Fijian. The 24th Manchester Phonology Meeting, May 2016. Manchester.

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) *Hauk, A., *Ashida, R., *Davies, W., Hobbs, J., and *Shibuya, K.: Working together: Clinicians and English teachers. JASMEE 2016, Jul., 2016. Yokohama.
- 2) 柳谷千枝子：グレアム・グリーン文学の効果的活用について考える－医学教育の観点から．2015年度日本キリスト教文学会シンポジウム．2015年12月．東京．

[国内学会発表（地方会関係・一般講演）]

- 1) Onuma, H.: Monophthongization and diphthongization in Precedence-free Phonology. The 2nd Workshop on Phonological Externalization of Morphosyntactic Structure: Universals and Variables. Feb., 2016. Niigata.
- 2) Onuma, H.: Element suppression in recursive structure. Workshop: Recursion in Phonology. Sep., 2016. Sendai.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) Hobbs, J.: Practical tips for better medical writing. 日本医学英語教育学会（JASMEE）医学論文トレーニングセミナー．2015年10月．東京．
- 2) Hobbs, J.: 高等教育機関に期待されるグローバル化への対応と地域再生への役割について．平成27年度いわて高等教育コンソーシアムシンポジウム．2016年2月．一関．
- 3) 工藤裕子:イギリス A to Z. 矢巾町セカンドアカデミー2016 in 岩手医大．2016年9月．矢巾．
- 4) 柳谷千枝子：グレアム・グリーンの小説の世界－「見えない日本の紳士たち」(The Invisible Japanese Gentlemen) ．矢巾町セカンドアカデミー2015 in 岩手医大．2015年10月．盛岡．
- 5) 平成 26-30 年度科研費：基盤研究(B)
研究課題：音韻的回帰併合の実在性と極小論における音韻部門の位置づけに関する統合的研究
研究代表者：*那須川訓也 研究分担者：大沼仁美

情報科学科数学分野

[学術論文（英文・原著）]

- 1) *Fukui, T., Hasegawa, M. and *Nakagawa, K.: Contact of a regular surface in Euclidean 3-space with cylinders and cubic binary differential equations. Journal of the Mathematical Society of Japan. in press.
- 2) *Fukui, T., Hasegawa, M. and *Saji, K.: Extensions of Koenderink's formula. Journal of Gokova Geometry Topology. in press.

[国際学会発表（一般講演）]

- 1) Ejiri, S., *Ohba, H. and *Sasaki, T.: Three-dimensional distribution analysis of bragg angles in X-ray stress measurement using two-dimensional detector. APCFS 2016. Sep., 2016. Toyama.

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 長谷川大: 曲面と円柱の接触と曲面の輪郭線. 第 63 回トポロジーシンポジウム. 2016 年 7 月. 神戸.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 平成 26-27 年度科研費：新学術領域研究（研究領域提案型）
研究課題：軟 X 線用の背面反射回析環二次元イメージング機構の開発
研究代表者：*佐々木敏彦 研究協力者：江尻正一
- 2) 平成 28-32 年度科研費：基盤研究(A)
研究課題：SOI 式超高速 X 線イメージングによるレールの初期転動接触疲労の実態解明
研究代表者：*佐々木敏彦 研究分担者：江尻正一
- 3) Project years: Oct. 2013 – Feb. 2016. São Paulo Research Foundation (FAPESP) post-doctoral grant
研究課題：The geometry of singular surfaces from the singularity theory viewpoint
研究代表者：長谷川大

物理学科

[学術論文（英文・原著）]

- 1) Oda, Y., Sato, E., Sagae, M., Yamaguchi, S., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S.: Quasi-monochromatic X-ray computed tomography system using a cadmium telluride detector and its application to gadolinium imaging. Ann. Rep. Iwate Med. Univ. Center Lib. Arts Sci. 50: 23-30 (2015)
- 2) Oda, Y., Sato, E., Sagae, M., Yamaguchi, S., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S.: High-sensitivity X-ray computed tomography using a ceramic-substrate silicon diode and a current-voltage amplifier module. Ann. Rep. Iwate Med. Univ. Center Lib. Arts Sci. 50: 31-36 (2015)
- 3) Sato, E., Ito, H., Oda, Y., Yamaguchi, S., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S.: Dual-energy-dispersive X-ray computed tomography using a ceramic-substrate silicon diode. Ann. Rep. Iwate Med. Univ. Center Lib. Arts Sci. 50: 1-9 (2015)

- 4) Sato, E., Ito, H., Oda, Y., Yamaguchi, S., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S.: Dual-energy X-ray photon counting using a silicon-PIN diode and its application to photon-count energy subtraction. *Ann. Rep. Iwate Med. Univ. Center Lib. Arts Sci.* 50: 11-21 (2015)
- 5) Oda, Y., Sato, E., Wada, K., Momokawa, H., Kataoka, D., Otani, R., Yamaguchi, S., Ehara, S., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S.: Dual-energy X-ray computed tomography using a YAP(Ce)-multipixel-photon detector and an energy-selecting device. *Med. Imag. Inform. Sci.* 32: 71-76 (2015)
- 6) Sato, E., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S., Metoki, T., Sato, Y., Oda, Y., Sagae, M., Yamaguchi, S., Ehara, S.: Cancerous-region enhancement utilizing gadolinium-oxide nanoparticles and 7.0-T magnetic resonance imaging. *Med. Imag. Inform. Sci.* 33: 1-6 (2016)

[学術論文（英文・その他）]

- 1) Miura, Y., Sato, E., Oda, Y., Yamaguchi, S., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S.: Dual-energy X-ray computed tomography system using a cadmium telluride detector and its application to gadolinium imaging. *Proc. SPIE 9594: 959402-1-7* (2015)
- 2) Oda, Y., Sato, E., Yamaguchi, S., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S.: Monochromatic X-ray photon counting using an energy-selecting device and its application to iodine imaging. *Proc. SPIE 9594: 959405-1-6* (2015)
- 3) Sato, E., Oda, Y., Yamaguchi, S., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S.: Dual-energy X-ray photon counting using an LSO-MPPC spectrometer and an energy-selecting device. *Proc. SPIE 9594: 95940F-1-6* (2015)

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 小松真：錐形状電極間の距離が水噴流駆動放電電極の耐久力に与える影響. 岩手医科大学教養教育研究年報. 50 : 37-44 (2015)

[国際学会発表（一般講演）]

- 1) Sato, E., Oda, Y., Yamaguchi, S., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S.: Spectral X-ray computed tomography system using a YAP(Ce)-SPMT detector. *SPIE Optics+Photonics. Sep., 2016. San Diego.*
- 2) Sato, E., Oda, Y., Yuichi, S., Yamaguchi, Ishii, T., S., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Watanabe, M., Kusachi, S.: Investigation of a near-infrared-ray computed tomography scanner. *SPIE Optics+Photonics. Sep., 2016. San Diego.*

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 小田泰行, 佐藤英一, 佐藤公悦, 萩原令彦, 松清大, 渡邊学, 草地信也：マイコンと CdTe 検出器を用いた単色 X 線 CT の基礎研究. 高速度イメージングとフォトニクスに関する総合シンポジウム. 2015 年 11 月. 盛岡.
- 2) 佐藤英一, 小田泰行, 佐藤公悦, 萩原令彦, 松清大, 渡邊学, 草地信也：CdTe 検出器を使ったスペクトラル X 線 CT システムの構築. 高速度イメージングとフォトニクスに関する総合シンポジウム. 2015 年 11 月. 盛岡.
- 3) 松清大, 萩原令彦, 渡邊学, 草地信也, 佐藤英一, 小田泰行：CdTe 検出器を用いた高感度蛍光 X 線カ

メラ. 高速度イメージングとフォトニクスに関する総合シンポジウム. 2015年11月. 盛岡.

- 4) 山口哲, 角原久夫, 菊池光洋, 及川博文, 中村隆二, 有賀久哲, 江原茂, 佐藤英一: 検出器を用いて測定した X 線スペクトルのピクセル数による変化. 高速度イメージングとフォトニクスに関する総合シンポジウム. 2015年11月. 盛岡.
- 5) 佐藤英一, 小田泰行, 山口哲, 萩原令彦, 松清大, 渡邊学, 草地信也: YAP(Ce)-MPPC 検出器を使った X 線スペクトルの測定とデュアルエネルギーCT への応用. 高速度イメージングとフォトニクスに関する総合シンポジウム. 2015年11月. 盛岡.
- 6) 渡邊学, 萩原令彦, 松清大, 草地信也, 佐藤英一, 小田泰行, 山口哲: スペクトラル X 線 CT と 7T-MRI による分子イメージング. 高速度イメージングとフォトニクスに関する総合シンポジウム. 2015年11月. 盛岡.
- 7) 山口哲, 角原久夫, 菊池光洋, 及川博文, 中村隆二, 有賀久哲, 江原茂, 佐藤英一: 結晶と小型光電子増倍管検出器を用いた高速エネルギー弁別 X 線 CT システムとガドリニウムイメージング. 高速度イメージングとフォトニクスに関する総合シンポジウム. 2015年11月. 盛岡.
- 8) 寒河江康朗, 佐藤英一, 小田泰行, 佐藤裕一, 萩原令彦, 松清大, 渡邊学, 草地信也: シリコン X 線ダイオード用いた X 線の検出と高感度 CT への応用. 高速度イメージングとフォトニクスに関する総合シンポジウム. 2015年11月. 盛岡.
- 9) 佐藤裕一, 佐藤英一, 小田泰行, 佐藤公悦, 萩原令彦, 松清大, 渡邊学, 草地信也: シリコン X 線ダイオードを使ったデュアルエネルギーCT システムの構築. 高速度イメージングとフォトニクスに関する総合シンポジウム. 2015年11月. 盛岡.
- 10) 佐藤英一, 寒河江康朗, 佐藤公悦: 弱電離黄銅プラズマターゲットからの X 線スペクトル. 高速度イメージングとフォトニクスに関する総合シンポジウム. 2015年11月. 盛岡.
- 11) 小松真: 電極周囲壁面の火花放電駆動ジェットへの影響. 平成 28 年電気学会全国大会. 2016年3月. 仙台.
- 12) 佐藤祐一, 佐藤英一, 小田泰行, 佐藤公悦, 江原茂: シリコン X 線ダイオードと 5.0 m 同軸ケーブルを用いた X 線の検出. 第 111 回日本医学物理学会学術大会. 2016年4月. 横浜.
- 13) 寒河江康朗, 佐藤英一, 小田泰行, 佐藤裕一, 山口哲, 江原茂, 佐藤公悦: CdTe 検出器と 2 つのエネルギー選択器を使ったデュアルエネルギー X 線 CT システム. 第 111 回日本医学物理学会学術大会. 2016年4月. 横浜.
- 14) 佐藤英一, 小田泰行, 寒河江康朗, 佐藤裕一, 山口哲, 江原茂, 佐藤公悦: CdTe 検出器を使ったスペクトラル X 線 CT システム. 第 111 回日本医学物理学会学術大会. 2016年4月. 横浜.
- 15) 山口哲, 角原久夫, 菊池光洋, 及川博文, 中村隆二, 有賀久哲, 佐藤英一: エネルギー弁別 X 線 CT を利用した金属アーチファクト低減の基礎検証. 第 111 回日本医学物理学会学術大会. 2016年4月. 横浜.

[国内学会発表 (地方会関係・一般講演)]

- 1) 佐藤英一, 小田泰行, 寒河江康朗, 佐藤裕一, 山口哲: 7T-MRI と Gd_2O_3 ナノ粒子懸濁液を用いた癌のイメージング. 日本生体医工学会東北支部大会. 2015年11月. 郡山.
- 2) 山口哲, 角原久夫, 菊池光洋, 及川博文, 中村隆二, 有賀久哲, 江原茂, 佐藤英一: LSO 結晶と小型

光電子増倍管検出器を用いた高速エネルギー弁別 X 線 CT. 日本生体医工学会東北支部大会. 2015 年 11 月. 郡山.

- 3) 佐藤裕一, 佐藤英一, 小田泰行, 佐藤公悦, 江原茂: シリコン X 線ダイオードを使ったデュアルエネルギーCT システムの構築. 日本生体医工学会東北支部大会. 2015 年 11 月. 郡山.
- 4) 寒河江康朗, 小田泰行, 佐藤英一, 佐藤裕一, 山口哲: シリコン X 線ダイオード用いた X 線の検出と高感度 CT への応用. 日本生体医工学会東北支部大会. 2015 年 11 月. 郡山.
- 5) 佐藤英一, 小田泰行, 寒河江康朗, 佐藤裕一, 山口哲: CdTe 検出器を使ったスペクトラル X 線 CT システム. 日本生体医工学会東北支部大会. 2015 年 11 月. 郡山.
- 6) 小田泰行, 佐藤英一, 寒河江康朗, 佐藤裕一, 山口哲: マイコンと CdTe 検出器を用いた単色 X 線 CT. 日本生体医工学会東北支部大会. 2015 年 11 月. 郡山.

[その他 (教育・研究講演等の社会活動・研究費等)]

- 1) 平成 26-28 年度科研費: 基盤研究(C)
研究課題: ダークカウントの無い Mcps エネルギー弁別を利用した高画質前臨床 X 線 CT
研究代表者: 佐藤英一
- 2) 平成 28 年度地域イノベーション創出研究開発支援事業
研究課題: ロング USB ケーブルを用いた超小型・高感度・多機能線量計の開発
研究代表者: 佐藤英一

化学科

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) Ikeda-Kurosawa, C., Higashio, H., Nakano, M., Okubo, M., Satoh, Y., Kurosaka, D. and Saino, T.: $\alpha 1$ -Adrenoceptors relate Ca^{2+} modulation and protein secretion in rat lacrimal gland. *Biomed. Res. (Tokyo)* 36(6): 357-369 (2015)
- 2) *Uesugi, S., *Fujisawa, N., Yoshida, J., *Watanabe, M., *Dan, S., *Yamori, T., *Shiono, Y. and *Kimura, K.: Pyrrocidine A, a metabolite of endophytic fungi, has a potent apoptosis-inducing activity against HL60 cells through caspase activation via the Michael addition. *J. Antibiot.* 69(3): 133-140 (2016)
- 3) *Abe, T., *Kobayashi, M., *Okawa, Y., *Inui, T., Yoshida, J., Higashio, H., *Shinden, H., *Uesugi, S., *Koshino, H. and *Kimura, K.: Yeast Ca^{2+} -signal transduction inhibitors isolated from Dominican amber prevent the degranulation of RBL-2H3 cells through the inhibition of Ca^{2+} -influx. *Fitoterapia.* 113: 188-194 (2016)
- 4) Higashio, H., Satoh, Y., and Saino, T.: Mast cell degranulation is negatively regulated by the Munc13-4-binding small-guanosine triphosphatase Rab37. *Sci. Rep.* 6: 22539;doi: /srep2239 (2016)
- 5) Moriguchi-Mori, K., Higashio, H., Isobe, K., Kumagai, M., Sasaki, K., Satoh, Y., Kuji, A. and Saino, T.: P2Y purinoceptors mediate ATP-induced changes in intracellular calcium and amylase release in acinar cells of mouse parotid glands. *Biomed. Res. (Tokyo)* 37(1): 37-49 (2016)
- 6) *Shiono, Y., *Miyazaki, N., *Murayama, T., *Koseki, T., *Harizon, *Katja, D. G., *Supratman, U., *

Nakata, J., *Kakihara, Y., *Saeki, M., Yoshida, J., *Uesugi, S. and *Kimura, K.: GSK-3 β inhibitory activities of novel dichlororesorcinol derivatives from *Cosmospora vilior* isolated from a mangrove plant. *Phytochem. Lett.* in press

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 藤田（岩渕）玲子, 木村眞吾: アフリカツメガエル卵胞細胞に対する PDE inhibitor の作用. 岩手医科大学教養教育研究年報. 50 : 45-51 (2015)

[国際学会発表（一般講演）]

- 1) Yoshida, J., Nishiya, N., Fujita, R., *Ito, Y. and *Kimura, K.: Analysis of targets and functional mechanism of faltarindiol on glucose production in rat hepatoma. The 6th International Conference on Food Factors. Nov., 2015. Seoul.

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 吉田潤, 西谷直之, *伊藤芳明, *木村賢一: セリ科植物由来ポリアセチレン化合物 faltarindiol の糖新生抑制機構と GSK-3 β 阻害作用. 日本農芸化学会 2016 年度大会. 2016 年 3 月. 札幌.
- 2) 吉田潤, *上杉祥汰, *川村哲晃, *木村賢一, *Dawei Hu, *Shuang Xia, *豊岡尚樹, *大西正男, *川島英城: 神経突起伸長作用を有する非メチレン中断型ジエン酸の新たな生物活性探索. 日本油化学会第 55 回年会. 2016 年 9 月. 奈良.

[国内学会発表（地方会関係・一般講演）]

- 1) 吉田潤, *伊藤芳明, *木村賢一: ヒマシ油から得られたヒドロキシ脂肪酸 rcinoletic acid の糖代謝調節作用. 日本農芸化学東北支部第 150 回大会. 2015 年 10 月. 仙台.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 平成 25-27 年度科研費：基盤研究(C)
研究課題：肥満細胞脱顆粒過程のイメージングと遺伝子機能解析への応用
研究代表者：東尾活典
- 2) 平成 28-29 年度科研費：挑戦的萌芽研究
研究課題：ライブイメージング技術に立脚した即時型アレルギー抑制／増悪成分探索系の構築と検証
研究代表者：東尾浩典 研究分担者：吉田潤
- 3) 平成 28-29 年度岩手医科大学圭陵会学術振興会：共同研究助成
研究課題：マスト細胞脱顆粒を制御する遺伝子群の時間的・空間的機能解析
研究代表者：東尾浩典 研究分担者：斎野朝幸, 横山拓矢, 佐藤洋一
- 4) 平成 28-29 年度科研費：若手研究(B)
研究課題：食材ポリアセチレン化合物による糖代謝改善作用の解明と標的分子の同定
研究代表者：吉田潤

生物学科

[学術論文（英文・原著）]

- 1) *Kato, M., Hiruta, C. and *Tochinai, S.: The behavior of chromosomes during parthenogenetic oogenesis in Marmorkrebs *Procambarus fallax* f. *virginalis*. *Zool. Sci.* 33: 426-430 (2016)
- 2) *Toyota, K.#, Hiruta, C.#, *Ogino, Y., *Miyagawa, S., *Okamura, T., *Onishi, Y., *Tatarazako, N., and *Iguchi, T. (#: equally contribution): Comparative developmental staging of the female and male water fleas *Daphnia pulex* and *Daphnia magna* during embryogenesis. *Zool. Sci.* 33: 31-37 (2016)
- 3) Matsumasa, M. and *Kinoshita, K.: Colonization of benthic animals on the newly created tidal flats in the “Sanriku” region, northern Japan. In: Urabe J, Nakashizuka T (eds.) Ecological impact of tsunamis on coastal ecosystems: Lesson from the Great East Japan Earthquake. Ecological Research Monographs. Springer. (in press)
- 4) *Kinoshita, K. and Matsumasa, M.: Effects of the Great East Japan Earthquake on intertidal macrobenthos in Iwate Prefecture. In: Urabe J, Nakashizuka T (eds.) Ecological impact of tsunamis on coastal ecosystems: Lesson from the Great East Japan Earthquake. Ecological Research Monographs. Springer. (in press)
- 5) *Kanaya, G., *Suzuki, T., *Kinoshita, K., Matsumasa, M., *Yamada, K., *Seike, K., *Okoshi, K., *Miura, O., *Nakai, S., *Sato-Okoshi, W., and *Kikuchi, E.: Disaster-induced changes in coastal wetlands and soft-bottom habitats: an overview of the impacts of the 2011 tsunami and Great East Japan Earthquake. *Biol. Int.* (accepted)

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 三枝聖, 藤田さちこ, 高宮正隆, 出羽厚二, *青木康博: シリアカニクバエ *Parasarcophaga crassipalpis* の積算時度 (ADH) . 法医学の実際と研究. 58 : 47-50 (2015)

[学術論文（和文・その他）]

- 1) 松政正俊, *島田直明: 東日本大震災被災地の生き物たちは、何を語ってくれるのか?. *ブンイチ.* 1 : 36-39 (2016)

[著書]

- 1) 松政正俊, 三枝聖, 蛭田千鶴江: 大学初年次の生物学実習 (岩手医科大学生物学科: 編). 川口印刷. 170 (2016)
- 2) 松政正俊: 新しい干潟が教えてくれたこと. 生態学が語る東日本大震災—自然界に何が起きたのか— (日本生態学会東北地区会: 編). (編集幹事・分担執筆 pp. 83-88). 文一総合出版. 192 (2016)

[国内学会発表（招聘講演等）]

- 1) *木下今日子, 松政正俊: 津波被害を受けた岩手の干潟における底生動物群集の回復状況. 企画集会「里地里海の普通種の行方～多様な環境変化と生態系レジリエンス」. 第 63 回日本生態学会大会. 2016年3月. 仙台.

[国内学会発表（全国・一般講演）]

- 1) 蛭田千鶴江, *佐久間哲史, *荻野由紀子, *山本卓, *井口泰泉: ミジンコ (*Daphnia pulex*) における TAL-PITCh 法を用いたノックイン法の確立へ向けて[Approach to establishing a knock-in system by using TAL-PITCh in the water flea *Daphnia pulex*]. 日本ゲノム編集学会第 1 回大会. 2016 年 9 月. 広島.
- 2) *角井敬知, 蛭田千鶴江: 日本産 *Nesotanaeis* (タナイス目) の分類学的・生殖生物学的研究. 日本動物分類学会第 52 回大会. 2016 年 6 月. 札幌.
- 3) 三枝聖, 高宮正隆, 藤田さちこ, 出羽厚二, *青木康博: 生前にイエバエ科およびショウジョウバエ科と推定された双翅目の入植が認められた事例. 第 100 次日本法医学会学術全国集会. 2016 年 6 月. 東京.
- 4) *伊藤萌, *小島茂明, 松政正俊, *木下今日子: 小友浦における新興ホソウミニナ個体群の遺伝的集団構造. 平成 28 年度東北マリンサイエンス拠点事業 全体会議. 2016 年 6 月. 仙台.
- 5) 松政正俊: 岩手の復興直後の状況と環境省による東北地方太平洋沿岸地域生態系監視調査. 2016 年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会 自然環境保全委員会企画自由集会「渚の自然環境をめぐる諸問題Ⅱ. 自然災害時にベントス研究者はどう対応すべきか? ~研究者のネットワーク構築に向けて~」(企画・話題提供). 2016 年 9 月. 熊本.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 平成 28-30 年度科研費: 若手研究(B)
研究課題: 減数分裂の成り立ちと本質の理解~ミジンコの単為発生卵の形成機構解析から迫る~
研究代表者: 蛭田千鶴江
- 2) 平成 28-30 年度科研費: 基盤研究(C)
研究課題: 淡水棲マミズクラゲの性決定の謎を追う
研究代表者: *小林千余子 研究分担者: 蛭田千鶴江
- 3) 平成 27 年度成茂動物科学振興基金研究助成
研究課題: ミジンコの単為発生卵形成を制御する分子機構の解析
研究代表者: 蛭田千鶴江
- 4) 平成 27 年度自然科学研究機構 基礎生物学研究所: 個別共同利用研究
研究課題: ミジンコのゲノム編集基盤の確立
研究代表者: 蛭田千鶴江
- 5) 平成 26-27 年度科研費: 若手研究(B)
研究課題: ミジンコの単為発生卵で起こる特殊な減数分裂解析のためのゲノム編集基盤の確立
研究代表者: 蛭田千鶴江
- 6) 松政正俊: 岩手生態学ネットワーク (代表: 松政正俊) 市民講座・人と自然と生態学第 14 回「未知なる隣人、イノシシとツキノワグマ」(共催: 日本生態学会東北地区会). 2015 年 12 月. 盛岡.
- 7) 松政正俊: 広田湾のベントス調査から分かってきたこと. 広田湾米崎・小友マガキ天然採苗試験報告会. 2016 年 3 月. 陸前高田.
- 8) 松政正俊: 日本生態学会第 19 回公開講演会「生態学から見た東日本大震災」(司会). 2016 年 3 月. 仙台.

- 9) 松政正俊：「教職員のための学生相談ハンドブック」岩手医科大学 学生相談ハンドブック作成委員会・健康管理センター（編集・発行）．2016．（作成委員会委員長）
- 10) 松政正俊：平成 28 年度岩手県立大学地域協働研究「宮古市重茂半島における自然保護ファシリテーター(重茂レンジャー)の養成」講師．2016 年 6 月．宮古．
- 11) 松政正俊：三陸海岸の立地と生物相の特徴．アースウォッチ．2016 年 7 月．宮古．
- 12) 松政正俊：岩手生態学ネットワーク（代表：松政正俊）市民講座・人と自然と生態学第 15 回「私たちのエネルギーと生物・生態系」（共催：日本生態学会東北地区会）．2016 年 8 月．盛岡．
- 13) 松政正俊：環境省自然環境局多様性センター 平成 27 年度 東北地方太平洋沿岸地域生態系監視調査・干潟調査サイト代表者（研究寄付金）（調査報告書：平成 28 年 3 月）．
- 14) 松政正俊：岩手県沿岸広域振興局「高田地区海岸養浜技術検討委員会」委員．
- 15) 松政正俊：国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所「高田松原津波復興祈念公園空間デザイン検討委員会」委員．
- 16) 松政正俊：環境省自然環境局多様性センター「平成 28 年度東北地方太平洋沿岸地域震災影響評価検討会」委員．
- 17) 松政正俊：熊本大学沿岸環境科学教育研究センター学外協力研究者（平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）．
- 18) 松政正俊：Plankton and Benthos Research 編集委員．
- 19) 松政正俊：Scientifica 編集委員（Marine Biology）．

